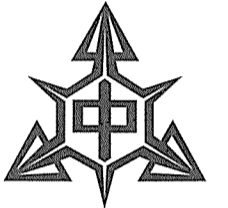
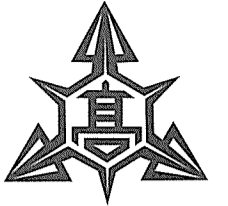


みらい 明日へ飛びたて！ 六十二回生

卒業式



発行所
〒857-0022
佐世保市八幡町6-31
長崎県立佐世保北高等学校
生徒会新聞部
編集人 佐北新聞編集局
印刷所 (有)タイセイ印刷



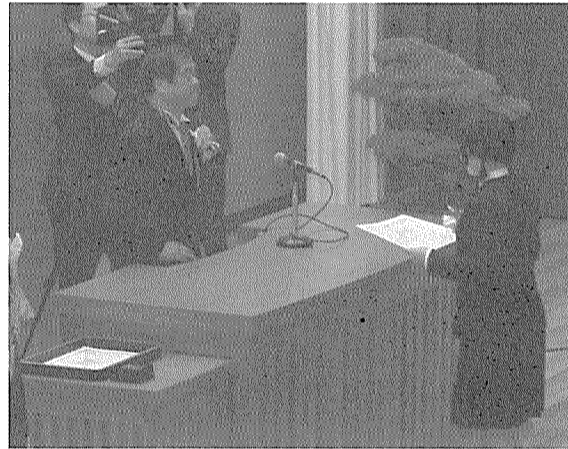
三月一日(月)、八幡体育館にて第六十二回卒業証書授与式が行われ、これには来賓、保護者の方々が式に参列され、卒業生の新たな門出を見送った。

今回は、初めて佐世保北中学校から六年間この八幡台で過ごした生徒が巣立つ、佐北の歴史にとって記念すべき卒業式となった。卒業生一人ひとりが名前を呼ばれ、校長先生から卒業証書を手渡されると、その顔は誇らしげに輝いた。

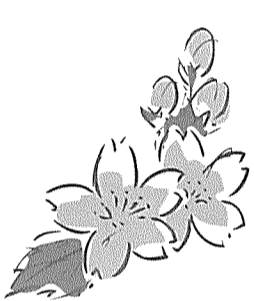
予行練習のときには何度も注意されていた

在校生も本番になると卒業生を送り出すべく見事な立ち振る舞いをみせた。この日のために練習してきた式歌「蛍の光」を卒業生も在校生も心ひとつにして歌い、すばらしい合唱ができた。

卒業生が退場する際には、卒業生から先生や保護者の方々、そして我々在校生への感謝の言葉が述べられた。また、卒業式の後に



行われた卒業生を送る会では、多数の在校生が先輩方との日々を惜しんで集い、それぞれに花束を渡して卒業生の前途を祝した。これから卒業生には、校長先生からの三つのお願いと佐北の誇りを胸に新しい環境で頑張っ



佐北の歴史はこれで終わりではない。これから佐北の新しい歴史を第六十二回生に代わって刻んでいくのは私たちである。

なお、卒業生からは卒業記念としてパイプ椅子八百脚が贈られた。これから我々在校生で大切に使用していきたい。最後に、『卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。』

CONTENTS

- 1面
卒業式
空手部準優勝
海外研修旅行
- 2面
北辰行
校長先生ご退職
気になる！NEWS
冬季オリンピック
- 3面
社会面をかじる
マラソン大会
季節の料理
若葉の声
- 4面
人生の達人セミナー
校内散歩
ウィキペディアの憂鬱

佐世保北空手道部 鴛鴦大会準優勝

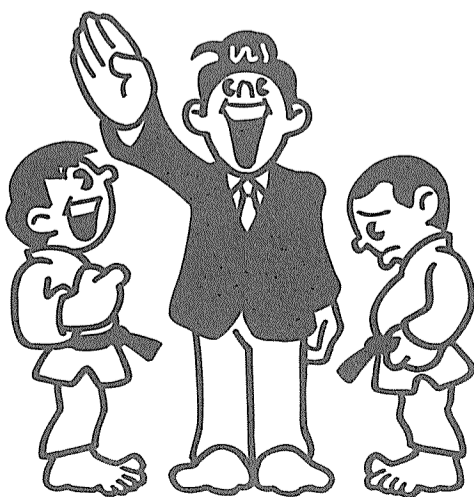
三月七日、長崎市の県立総合体育館(通称アリーナ・カプトガニ)で第七回鴛鴦(えんおう)旗全国高校大会が行われた。これには九州外からも広島、兵庫など全国各地から強豪が集まった。

大会は団体戦のみで、本大会(敗者トーナメントあり)と一年生大会(三人制)という内容で男子二十一校、女子十六校が参加した。

男子組み手団体では佐世保北が準優勝、佐世保東翔が三位。また、女子組み手団体では瓊浦が三位に入り、長崎勢の奮闘が見られた。

男子組み手団体の準決勝では佐世保北と佐世保東翔の佐世保対決もあった。結果は三ー一で佐世保北が決勝に進んだが、宮崎第一高校には三ー一で敗れ、準優勝という結果に終わった。

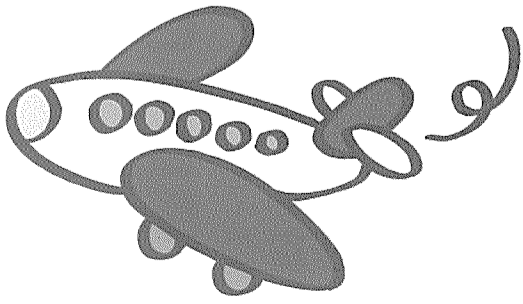
顧問の皆良田先生は「全国大会に向けての課題を見つけられた。この課題を克服し、目標である全国一を達成したい。」と語った。



初めての海外研修旅行！ 新・中学三年生 オーストラリアへ！

三月二十五日から四月四日まで、中学三年生三十七名がオーストラリアへ研修旅行に出発する。予定では、初めての二日間はオリエンテーションや施設訪問、その後九日間、現地の学校へ行き、現地の学生と授業を受

け、帰国する。これは中学校創設以来初の取り組みで、生の英語に触れられる上に、英語圏の文化に直に触れられるまたとない機会だ。現地の学生は日本語コースをとっており、中学生は彼らの授業にALTとして参加する。引率される中学校英語科の三溝先生は「参加する中学生三十七名の英語力には差がありますが、この機会に語学だけでなく現地の人々との交流を深めることに重きをおいてほしい。」と話された。自分の視野を広げる良い企画への感謝をしつつ、積極的な学習を中学生には期待したい。

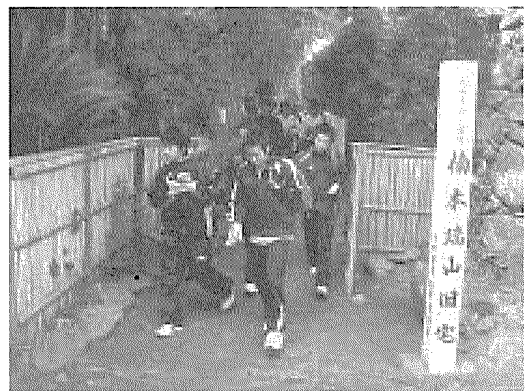


GO!GO! 北辰行!

平成二十二年二月五日(金)、晴れ渡る空の下、北辰行が行われた。有名な儒学者『楠本端山』旧宅などを通りながら新西海橋を指すこの北辰行、二十五キロメートルという普段歩かない距離だが高校三年生や保護者の方々の協力のおかげで無事に終えることができた。

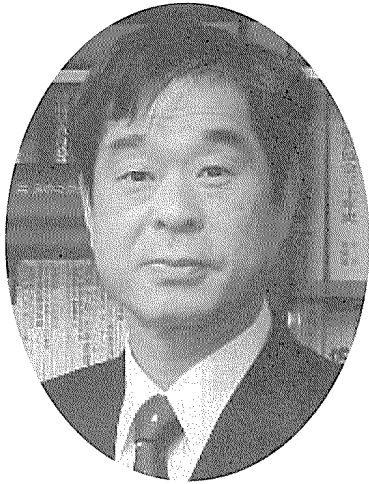
二月の寒い空気の中、

中学生は友人同士で励ましあい、長い道のりを歩ききった。この行事を乗り越えることで、よりの自分の心身を鍛えることができただろう。



校長先生のご退職 今までありがとうございました!

今年の三月で久原巻二校長先生がご退職なされます。最後にお言葉をいただきました。



佐北に感動!三十八年間に感謝!

三月一日の卒業式は胸に迫るものがありました。卒業証書を手渡ししながら、一人ひとりの三年間を思い起こし、涙腺がゆるみっぱなしでした。県立中学校一回生として入学し、全て始めてのことばかり。高校では北新生を加え、六十二回生としてすばらしい学校生活を見せてくれ

ました。佐北の開拓者として、新しい歴史を刻んだ見事さには感心するばかりです。教員生活の最後を佐北で終えることにうれしさと感動をおぼえます。

これまで十二の職場を経験しました。生徒の皆さんや保護者の皆様、先生方とすばらしい出会いの連続でした。教員になってよかったと思ひみじみ思います。ここまでやってこられたのも多くの皆さんのおかげです。充実した三十八年間に深く感謝します。

四月からは、これまでの体験をふまえ、何かワクワクすることに挑戦できたらと思っております。佐北のますますの隆盛を祈念しております。大変お世話になりました。



気になる! NEWS

ツイッターでひと騒動

Twitter (ツイッター)とは、個々のユーザーが「ツイート(つぶやき)」を投稿することで、ゆるいつながりが発生するコミュニケーション・サービスであり、広い意味でのSNSの一つだ。最近「つぶやき」が百億を越えるなど急速な広がりを見せているが、このツイッターで最近、色々問題が起きている。

クイズ番組などでお馴染みのタレント・伊集院光さんが四日未明、「クイズ番組で優勝した」という趣旨の「つぶやき」を投稿。もちろん、そのクイズ番組はまだ放送されておらず、収録しただけだと思われる。クイズ番組の醍醐味は問題でもあるが、最後まで結果がわからない、「誰が優勝するか」というのも重要な『売り』なのにも関わらず



▼Twitter(ツイッター)

感動をありがとう!

バンクーバー

オリンピック閉幕

先日二月十二日から二月二十八日までカナダのバンクーバーで第二十一回冬季オリンピックが開催された。

今大会での理念は『先住民の参加』『環境への配慮』『持続可能な発展』であり、それに基づいて不要になった家庭用電化製品やパソコンなどの産業廃棄物から取り出された金属によりメダルが作られたりするなどの工夫がなされていた。

フィギュアスケート女子の浅田真央とキムヨナの対決や、スピードスケート界に現れた新星・高木美穂、カーリングのマリリンこと本橋麻里などが注目されたこのバンクーバーオリンピック。日本の獲得したメダルは五個であった。詳細は以下のとおり。

- ・フィギュアスケート女子シングル (浅田真央) 銀
- ・フィギュアスケート男子シングル (高橋大輔) 銅
- ・スピードスケート女子団体追い抜き (小平奈緒・穂積雅子・田畑真紀) 銀
- ・スピードスケート男子五百メートル (長島圭一郎) 銀
- ・スピードスケート男子五百メートル (加藤条治) 銅

日本中に感動の嵐を巻き起こしてくれたこのバンクーバーオリンピック。北高生も人々に感動を届けることのできる人間を目指してはどうだろうか。



社会面をかじる

先日のJNN調査によると「内閣を支持できない」と答えた人は三七・七%、一方「支持できない」と答えた人は六一・九%となった。

鳩山内閣の支持率が四〇%を切ったのは今回が初めてであり、最も高かった昨年十月の八〇・三%の半分以下という数値になっている。

第一の原因として考えられるのはやはり『政治とカネの問題』である。先日、小沢氏の資金管理団体をめぐる政治資金規正法違反事件で元秘書ら三人が起訴された。小沢氏については関与していたという決定的な証拠がなく証拠不十分で不起訴処分となったが、説明責任を求める国民の不満は積もる一方。

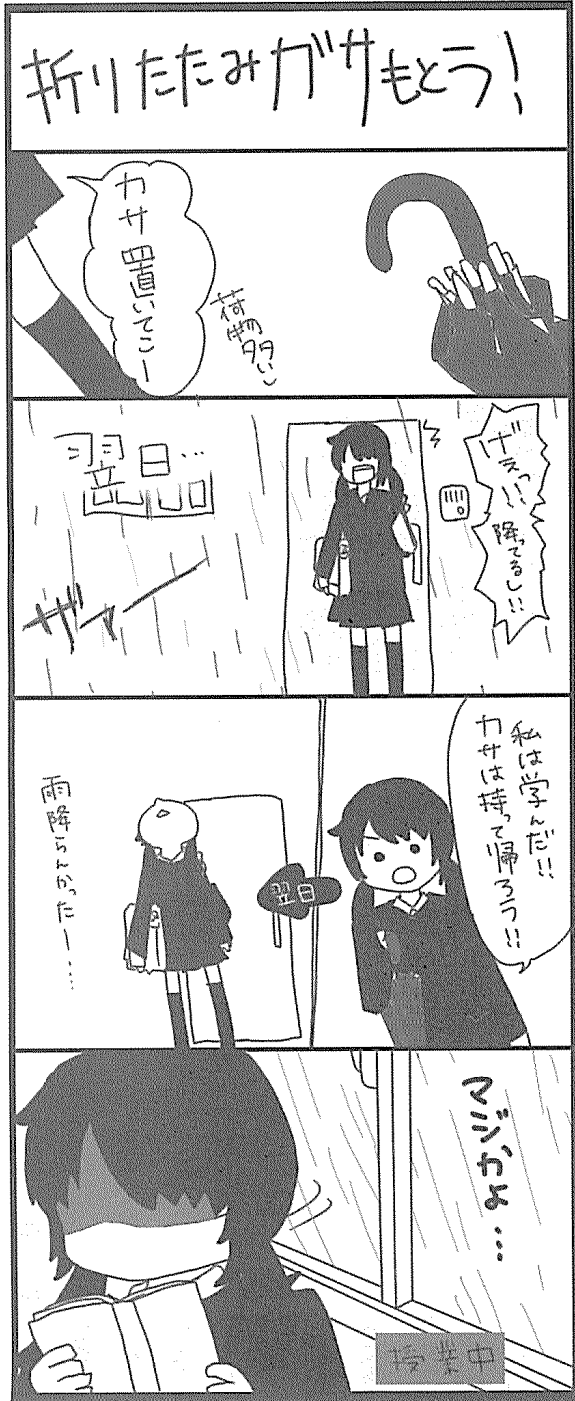
また鳩山総理の偽装献金問題への説明が不十分であることも、贈与税の納税をした今となっても国民の不信を扇いでいるようだ。

では国民は今民主党ではなく自民党を求めているのか、と言うとそういうわけではない。自民党の支持率はほぼ横ばいであり、支持率が上がっているのは意外にもみんなの党などのその他の党である。

毎日新聞・産経新聞の世論調査では共産・社民両党を抜き第四党に躍り出ている。みんなの党とは二〇〇九年八月八日に成立した政党であり代表は渡辺喜美氏、新自由主義の政策を基本とし政治の真の改革を掲げており今では特に経済面への取り組みが評価されているようだ。

私が思うに、この結果はみんなの党自体が評価されているというもあるだろうが、国民が自民党でも民主党でもない新しい風を求めているという事象を表現しているのではないだろうか。

国民が自民党に不信感を抱いた結果が昨年の衆院選では『民主党の圧倒的勝利』という形で現れた。今抱いている民主党に対する不信感が現れるであろう夏の参院選の結果はどうなるのだろうか。新風が吹くのか、現状維持か、その結果が大きく注目される。

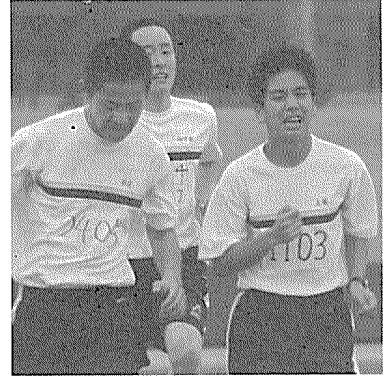


季節の料理 春の菜の花炒めあえ

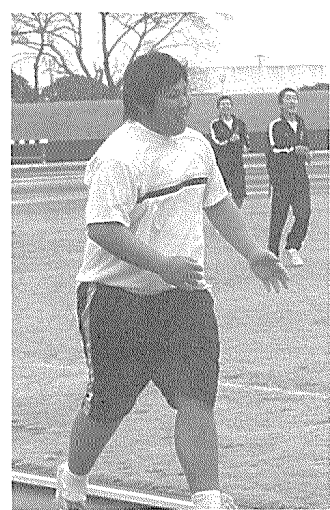
材料 (2人分)

- 里芋：5～6個 菜の花：4株 大根葉：市販のお漬物の葉っぱを使用
 - 酒：大さじ1 だし汁：大さじ1 醤油：少々 ごま油：1.2滴
- ①里芋の皮をむき、厚さ1cm程度に切り塩少々をふりかけぬめりを取り、よく水洗いしておく。
 - ②菜の花を茹で、2cm程度に切り分ける。(炒めるので、ほんの30秒程度でOK) 大根葉を1cm程度に切る。
 - ③フライパンに里芋を入れ酒・だし汁を入れ柔らかくなるまで炒める。弱火で大根葉を投入し軽く混ぜ合わせる。
 - ④醤油を少々入れ、火を止めてごま油1滴程たらす。(余熱で香り付け) 器に盛り、菜の花を上に乗せて出来上がり!

自分との闘い マラソン大会



二月十日水曜日、高校一・二年生がマラソン大会に参加した。男子が十キロメートル、女子が六キロメートルの道のりを走り、そのタイムを競う。事前に体育の授業であった練習の成果か、かなり早いタイムでのゴールが目立ったように思う。トップテンへの一年生の入賞が、男子



女子共に多くあったのは驚きである。クラス別には一年一組が一位に輝いた。

先生が生徒と並走したこともあり、今回も大いに盛り上がった。完走後の生徒たちの顔の疲れと清々しさは、スポーツのよさを改めて感じさせた。「鍛える冬」という目標を掲げ、これまでマラソンの練習を行ってきた成果を存分に発揮できたであろう。今回のマラソン大会の結果や過程を踏まえて今後の自分に課題を課すことができるのではないだろうか。

若葉の声

しいたけ たていすかな

しいたけを嫌いな小学生って多いよね。しいたけは美味しいのに。
しいたけを切るとなめくじにそこはかとなく似てるからかしら。しいたけのくきは、意外と苦いのです。

私のお姉ちゃんもしいたけ嫌いだったなあ。
美味しいんですけどねえ。「菌」なのが嫌らしいです。

※ここへの投稿は図書室の投書箱から!

Number Place

行・列・九つのブロックに1から9の数字が全て入るように埋めるゲームです。(同じ行・列・九つのブロックに同じ数字が入ってはいけません)

			4	9			7	
5				3		4		2
		3	2			6		
	5			8	4			
4	7					8		6
		3						
			7	9			3	
3						6		1
			1	4				2

学ぶ≠教わる!

心に響く人生の達人セミナー



▲講演の様子

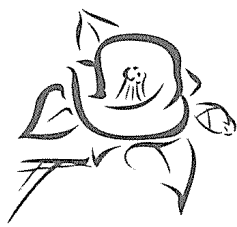
三月十日(水)、八幡体育館で長崎県教育委員長の山崎滋夫先生による人生の達人セミナーが行われた。

山崎先生が最も強くおっしゃられていたことは「学ぶ」とは教えられるものではなく、自分のために努力をする、人間として成長を遂げるためには不可欠なものであり、それには目標—それも自分に見合ったもの—その目標に対する熱意が必要だということだった。「夢」や「志」は達成できるかどうか分からないものだが、大切なのは可能性を信じ、努力し続けることだ。そこで努力が実ったらまた自分の世界、自分が持つていた尺度が広がって人間として大きく成長できる。自分の人生は自分のもの。自らの力で生きていくという意識が一番、人生で肝心なことだった。

ウィキペディアの憂鬱?

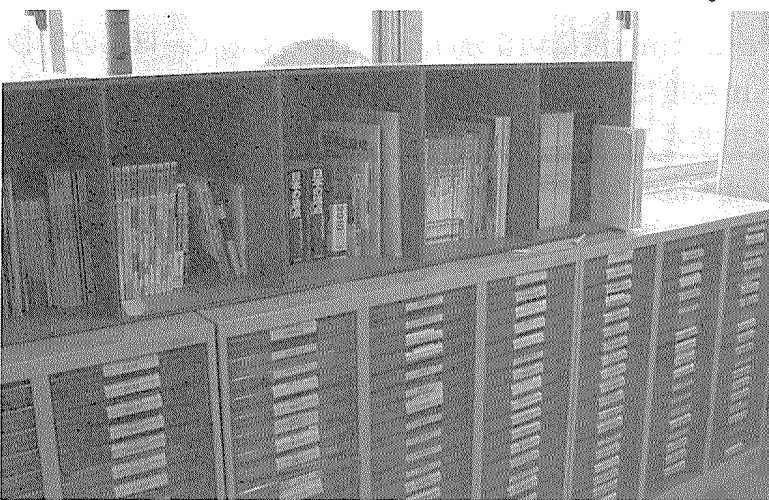
ウィキペディアと言えば、ネット上で誰もが編集できる百科事典である。現在、量的成長が一段落し、「質」の向上に努めているらしいのだが、問題も多い。日本語版ウィキペディアは、とにかく芸能関連のページが多く、「ポップカルチャー」(大衆文化)に偏っている。ウィキペディア財団によると、日本語版では全閲覧数のうち八割がアニメやテレビ番組、芸能人などのページに集中している。英語版では大衆文化は四割、フランス語版では二割にも満たない。政治や地理などの人気が高い外国語版と比べると、ハッキリとその差がわかる。ちなみに日本語版での人気の話題は、掲示板「2ちゃんねる」の傾向に似るといえる。

また、犯罪予告や個人情報、ただの広告などの問題がある記事も後を絶たないという。これらの「管理人」はネットでの信任投票で選ばれるが、報酬の無いボランティアである。また、立候補制なのだが、日本語版では立候補する人物はかなり少ない。現在、管理人の欠乏が叫ばれている。



校内散歩

今月の校内散歩は、職員室の近く、荘厳な進路学習室の隣の進路相談室だ。この部屋、実は記者自身も入ったことさえ知らず、探検気分でのドアをあけた。この部屋の担当の先生は進路指導の舟越先生。入ってきた私たちに親切に部屋を紹介してくれた。先生や生徒が進路や模試についての情報を閲覧できたり進路を相談したりする部屋である。また、あまり知られていないかもしれないが、一枚十円でコピー機を利用できるようになっている。赤本やパンフレットが一揃いあるのでぜひとも活用してほしい。進路について考えるのにとっても役立つ部屋なので、一度利用してみよう。



編集後記

皆さん、こんにちは。とうとう今年最後の新聞となりました。思えばこの一年、様々なことがありました。一年前新聞作りに関して全く素人だった私達がかつて以来新聞を書き続けてこられたのは、ひとえにこの新聞を読んでくれる読者の皆さんのおかげです。新しい学年になっても新聞部一同努力していきたいと思えます。

▼今回は大変だった。来年度からは、もっと早く文章が書けるようにタイプが上手になりたい。(裂きや一魔)

▼結構がんばりました。課題が多い時期と重なったので大変でした。睡眠時間が三時間以下×一週間以上。(嵐)

▼新聞部はいろいろな意味で私を成長させてくれます。今すぐにもめげてみたいけど、いえそれは道義にあわないでしょう。頑張ります。(林檎月)

▼最近スランプ気味です。もうすぐ二年生になるとか信じられない。嫌あー！(しろきち)

▼今の自分出来ることをやり遂げたいです。そしてもっと人の役に立ちたい！(まろい)